

令和3年度 豊浦町立豊浦中学校 グランドデザイン

学校の教育目標

- 進んで学び、正しく判断する生徒 【進取】
- 豊かな心を持ち、協力して生活を高める生徒 【共創】
- たくましい心身を持ち、最後までやりぬく生徒 【鍛錬】

学校経営基本方針

「子どもの命を守り、社会に出たときに通用する基盤の育成」

具体的な重点目標

◎ 教育活動の根底として

学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する今日、子どもたちの安全・安心を確保した中で健やかな学びを保障し、確かな資質と能力を育む

◎ 目指す学校像

不易と流行を見極め、
生徒が自分の成長を実感することができる学校

今年度の(10Zones)重点

※赤字・下線が今年度の最重点

<p>【学習指導】</p> <p>(1)「学力向上プラン」「豊浦町スタディ・サポート」の充実 <u>(2)タブレットを使った「主体的・対話的で深い学び」の授業の工夫</u> (3)学習指導要領の新しい3観点に基づく指導と評価の一体化</p> <p>【生徒指導】</p> <p>(1)報告・連絡・相談・確認の徹底と共通理解 <u>(2)不登校生徒への組織的対応(アセスメントに基づいたプランニングと役割分担、SC・SSWとの連携)</u> (3)いじめ未然防止プログラムの推進</p> <p>【研修】</p> <p>(1)信びよう性を高める評価評定の点検・修正 (2)生徒指導研修の充実(アセス・いじめ・不登校等) <u>(3)授業改善に直結する研究(仮説提案型への挑戦・公開研究会での提言)</u></p> <p>【道徳科】</p> <p>(1)道徳教育推進教師が中心となり全教師で行う指導体制の継続 (2)年間指導計画・別葉の整備と教科書の活用 <u>(3)明確な指導観(※価値観→生徒観→教材観)に基づく授業づくり</u> <small>※教材観とは内容項目、生徒観とは生徒の実態、教材観とは発問等</small></p> <p>【特別活動】</p> <p><u>(1)居場所づくり(互いの良さを認め合い自己有用感を高める学級)</u> (2)絆づくり(人と関わる喜びを育む異年齢交流) (3)PDCAサイクルを可視化したA4・1枚の学年経営案の充実</p>	<p>【総合的な学習の時間】</p> <p><u>(1)キャリア・パスポートの着実な活用</u> (2)全体計画及び年間指導計画の点検及び修正 (3)豊浦町教育委員会社会教育主事・噴火湾とようら観光協会等との連携</p> <p>【健康・安全】</p> <p><u>(1)「学校の新しい生活様式」の徹底</u> (2)全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた「体力向上プラン」の充実 <u>(3)「危機管理マニュアル」の実用性・実効性の向上</u></p> <p>【インクルーシブ教育】</p> <p><u>(1)個別的教育支援計画・指導計画の活用(いつまでに、誰が、何をどのように)</u> (2)パートナーティーチャー・町教育支援委員会・町特別支援教育協議会との連携 (3)「特別な支援を要する子どもへの関わり方について」「通級指導教室利用について」の活用</p> <p>【連携】</p> <p><u>(1)生徒一人一人に適した学習サポート体制の充実(各種調査結果等の共有、家庭学習の定着及び質的向上)</u> (2)委員会・会議・ワーキンググループの活性化 (3)小学校との授業をつなぐ(乗り入れ授業・出前授業の充実)</p> <p>【環境】</p> <p><u>(1)ICTを活用した「わかる授業」の創造(タブレット・デジタル教科書等)</u> (2)「Road 中学校編」をベースにした働き方改革の推進 (3)校務の平準化を基盤とした有機的・機動的な校務分掌の構築</p>
--	--

自己有用感を高める

- ・「存在感・承認・貢献」のある集団づくりと授業づくり
- ・生徒同士の望ましい人間関係の構築

「居場所」と「絆」をつくる

- ・思いやりのある学級集団
- ・適切な課題の提供
- ・授業が最大の「居場所」
- ・主体は生徒、教師は黒子

評価

- ・全国学力・学習状況調査の平均正答率全国平均以上
 - ・CRT検査の平均正答率全国平均以上
 - ・授業の振り返りのノートまたは振り返りシートの記述内容
 - ・生徒へのアンケート(学習、いじめ)
 - ・学校評価(自己評価)
- ※学校が楽しい、先生は悩みや相談を親身になって受け止めてくれる、授業の「ねらい」「課題」の提示と「まとめ」「振り返り」の徹底、ICT機器を活用した「わかりやすい」授業、学校の新しい生活様式の徹底⇒各3.2以上(4段階中)